

# 武庫庄



令和6年8月30日



## あきらめないで どんなきも！



パリオリンピックで日本中が沸き立った夏休みが終わりました。

日本は、オリンピック史上最多の45個のメダルを獲得しました。

それぞれの競技へ必死に取り組む選手の姿勢からたくさんの元気と勇気をもらいました。特に、日本選手の活躍が目立ったのは団体種目。



体操では、それぞれ個人が自分の特長を活かし、次のチームメイトに繋がりました。体格的には欧米やアフリカの人たちに劣るものの、チームワークの良さで作戦で結果を出しました。日本のお家芸とも言われている柔道やレスリングでも素晴らしい結果を出しました。決して楽な戦いばかりではなく、最後の最後での逆転勝利のシーンもありました。勝利を信じて、最後まであきらめない気持ちが日本選手から伝わってきたことを鮮明に思い出します。卓球では、早田ひな選手がシングルスで銅メダル、団体では銀メダルを獲得しました。早田選手は東京オリンピックでは補欠としてチームを支え、3年間の努力の末に日本代表となり、迎えた初のオリンピックでした。シングルスの戦いでは、左手首を負傷し、満身創痍で戦い抜いた末の銅メダルでした。早田選手は、「朝の4時までケアしてもらったり、皆さんの体力や睡眠を削ってでも私に時間を使ってくれたりした。チームのサポートがあったからこそ銅メダルを勝ち取ることができた。金メダルを取るよりも銅メダルを取るこのほうが価値があるかな。」と語っていました。



暑い暑い夏が終わり、今日から2学期が始まります。2学期には運動会や6年生対象の体育大会、4年生対象の市の音楽会や校内図工展など、多くの活躍の場があります。オリンピック選手のように 一日一日を大切にして、最後まであきらめず、自分のできることにチャレンジし、実りある2学期になることを願っています。



学ぶとはどういう姿なのか、支え合うとはどんな場面でどのように行動することなのか、私たちも常に心にとめて考えていきたいと思えます。

### フラスワン見つけ 教職員の巻

教職員も夏休みにしかできないことをたくさん体験しています。授業力をつけるための研修や ICT を活用した研修等、子どもたちの学びにつながるために日々努めています。また、授業中に不審者が侵入してきたことを想定した不審者対応訓練も行いました。尼崎北警察署の職員を講師に迎え、もしもの時に備えた身のこなし方や校舎内にある道具の活用方法も学びました。安全・安心な学校となるよう気を引き締めることができました。

